

# 祝 辞



日本大学理事長 林 真理子

日本大学松戸歯学部同窓会の皆様には、日頃から日本大学へのご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。このたびは、記念すべき『同窓会会誌』第100号を刊行され、心よりお慶び申し上げますとともに、熱心なご活動に対して、深く敬意を表します。

日本大学松戸歯学部(前身は日本大学松戸歯科大学)が創設されたのは、1971(昭和46)年のことです。これは、当時の日本では歯科医師が慢性的に不足する一方、歯科大学は医科大学に比べて数が少なく、地域的にも偏在していたことから、第6代総長鈴木勝先生のご尽力によって実現したものです。多くの困難を乗り越え、2021(令和3)年には創設50周年を迎えました。この間、多くの卒業生を社会に送り出し、日本の歯科医療と歯科医学の発展に大きく貢献しています。

現在、創設の理念である「医学的歯学」に基づき、歯科医学を「オーラルサイエンス(口腔科学)」と捉え、医学の一分派としての教育・研究を実施し、また医療人としての人格を備えた歯科医師の育成を目指しています。この教育理念によって作成されたカリキュラムは、ステップを踏んだ綿密な一貫教育となっており、学修支援システムも整えられています。附属病院は、多様化する社会のニーズに応えるため、最新の設備で高度な医療を実施し、松戸市とその周辺地域の歯科医療の中核的な存在となっています。

日本大学は、数年にわたり不祥事が続きましたが、昨年7月に新体制が発足しました。現在、健全な管理運営体制の構築を図るとともに、未来に向けた改革を進めています。日本大学には多くの卒業生が各分野で活躍していますが、歯科医師会においても、本学は一大勢力であるとお聞きしています。校友の皆様には、日本大学の再生・発展のために力をお貸しいただきたく、今後ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後に、貴同窓会がこれからもますます発展することを祈念し、私からの祝辞といたします。